



N.S.ニュース速報A

NSDAP/AO : PO Box 6414

Lincoln NE 68506 USA

www.nsdapao.org

#1109

15.06.2024 (135)

ミヒャエル・キューネン (Michael Kühnen)

第二の革命

第二巻：人民の国家

第6部

国家・政府の形態

われわれ国家社会主義者は、国家の外形的な形態の問題には、むしろ無関心である。将来の人民国家は、国家社会主義的な世界観の国家であり、そこでは、党が国家の歴史的使命を体現しているのである。ということである：

国家社会主義思想は、ヴォルキッシュの生活を拘束する基盤である。これこそ決定的な要素であり、これに対して形式的な構造は、比較的重要ではない。

アドルフ・ヒトラー自身は、その政治的遺言の中で、ヒトラーに象徴される国家、政府、党の指導の統一を解消し、帝国大統領、帝国首相、党大臣を任命することによって政治秩序を再編成しました。実際、このような役職の集積は、総統のような総合的な天才がもはや手綱を握っていない現時

点では、不適切であると思われる。

長期的には、君主制の秩序に戻ることが理にかなっている。私たちが目指しているヨーロッパの統一、白色人種の他の国々やイスラム文化圏との密接なつながりは、憲法の面でも結果をもたらすでしょう。民族間の絆の深まりは、共通の制度を生むだろう。その第一は、象徴的な共通元首の存在である。

しかし、ドイツ国家社会主義運動の指導者の地位と共通の国家元首の地位との間の個人的結合は、ドイツ国民によってのみこの国家共同体の最高の象徴が選ばれることと同様に、我々の生活空間の他の民族にとって耐え難いものである。他方、ドイツ国民は、非ドイツ人の国家元首を誕生させる可能性のある共同選挙に同意することによって、他国民がその国家生活の形成に干渉することを許すことは期待できないのである。

ここで、君主制は適切な解決策を提供する。しかも、皇帝制はドイツとローマの両方のオクシデンタルな伝統に対応している。王政は正統性と安定性を体現し、国家元首の座を喧騒や政治的争いから解放してくれる。こうして王政は、絶え間なく進行する革命の過程や、政治や社会が絶え間なく変化する現代のめまぐるしい動きの中で、休息の極地となる。

長い間、互いに隔てられていたドイツの州や国境地帯の和解が進む中で、王政は統一的な絆として機能することもできた。結局のところ、ドイツ・ローマ帝国に反対するよりも賛成する論拠が多い。

国家社会主義運動が先に君主制復古主義的傾向を否定したのは、ウィルヘルミン帝国に歴史的に近かったことと、反動の力との必要な闘いであり、多くのドイツ人の君主感情をも利用して国家社会主義と闘ったことに起因する。

それが変わったのです：ドイツでは、もはや君主制は独立した政治勢力ではありません。だからこそ、今日、私たちは、国家社会主義人民国家が長期的に君主制の形態をとるべきでないかどうかについて、公平に考えることができるのである。もしそうすることになったら--これは緊急の政治問

題でもなければ、われわれのアイデアの不可欠な部分でもない--、われわれはただ二つのことに注意を払えばよいのである：

スペインの例は、そのような展開がいかに危険かを示しています。フランコがスペイン国家の安定の保証人とみなした国王が、民主主義の低地への道を開き、その結果衰退していったのです。

もし私たちが、国家元首の地位をあらゆる政治的論争から排除し、世襲王政を再び導入する用意があるなら、他方で、政府元首の地位は常にNSDAPの党首と不可分の関係にあることを主張しなければならないだろう。私はもともと、ヴォルキッシュ的生活の3つのレベルについて話していた。第一のレベル、すなわち国家の意味と任務は、党によって形成され、国家社会主義の世界観によって常に決定され、おそらく世襲王政の不変の形態によって象徴される。

第二のレベルは、政府・行政の日常業務である。このレベルでは、2つのタスクに直面することになります：

- 政府は、我々の運動の目標を一步一步実現し、国家の歴史的課題を決して見失ってはならない。
- 政府は、高度に発達した産業社会で増大する問題に直面し、解決しなければならない。

第一の課題は、我々の政策の方向性である。それは、党と国家の団結によって解決される。

第二の課題は、私たち国民の多くにとって、比較にならないほど重要であると思われれます。

誰も勘違いしないように：

もし我々の国民が再び国家社会主義運動にすべての希望を託すなら、それは我々の世界観のためではなく、民主主義者や共産主義者がもはや問題や危機に対処できないからであり、この点において我々は-以前もそうだった

たように-泥の中から荷車を引き出せる唯一の存在なのである。

国民は、私たちがシオニズムをどう考えているか、王制か共和制か、政府が独裁的か議会制か、などということは気にしないでしよう。国民は、私たちが経済を整え、外国人を帰国させ、エネルギー供給を確保し、犯罪を撲滅し、失業をなくすことを期待するだろう。

したがって、国家社会主義人民国家は、党独裁ではありません。我々は、実験的な思想家が政府の仕事を支配することを許さない。政府は、困難な--ほとんど解決不可能な--問題に直面することになるであろう。これらの問題は、専門家によって解決されなければならない。

私たちは、パーティーブックではなく、パフォーマンスと成功が重要だと考えています！

昨日までは農相、今日は財務相、明日は国防相まで務めた民主的な「万能の天才」の時代の終焉を告げるものであろう。"正統性"は決定的なものではなく、"成功"である。それでも政治が国家社会主義に基づいて行われることは、党の指導者でもある政府首脳によって保証されている。しかし、それ以外の部分については、政府の活動を引き継ぐことが党の任務ではなく、単にそれを監督することである。

この第二レベルの活動は、他の活動と同様に職業である。後述する入念な訓練が必要であり、イデオロギーの遊び場や多数決の場でもない。それは、わが国民とその歴史的使命のための奉仕事業なのである。

これらの原則がすべて守られたならば、国家社会主義は新秩序を確立し、総統の予言を成就する：

"国家社会主義は、ドイツの次の1000年の歴史を決定する"

2.ザ・パーティー

"反抗は正義" - 毛沢東

歴史的な例：文化大革命

1949年、毛沢東は北京で中華人民共和国を宣言した。これにより、国民党の中国人と紅衛兵の中国人の間の長い内戦は終結した。

国家社会主義人民国家についての考察の中で、中国の共産主義政権の成果、成功、誤り、犯罪に関心を持つべきではないだろう。結局のところ、当初は、他のマルクス主義的な支配体制と大きく異なるようには見えなかったし、スターリンの死後のモスクワと北京の間の断絶も、主に中国とロシアの国家関係とその歴史に起因するものだった。このようなことはすべて、私たちがイデオロギーに関心を持つことではありません。私たちが注目しているのは、中華人民共和国の政治史における一つの出来事、いわゆる「文化大革命」であり、これによって毛沢東主義がモザイク共産主義から思想的に脱却し、また私たちにとって重要である。

一党支配の世界観国家は、そのイデオロギー志向にかかわらず、すべて同じ重大な問題に直面している

:

国家の権力を制圧し、その世界観を国家組織に刷り込んだ革命党は、その後の時代、国家党として、権力や特権を維持し、できるだけ円滑な行政作業を行うことに最大の関心を持つメンバーを抱える官僚機構に変貌するのが普通である。革命的な勢いは枯渇し、職業主義者が党に押し寄せ、最初の時期の理想主義者を追い出してしまう。

これは、例えば、イタリアのファシスト国民党であるPNFの問題であったように、CPDSUの問題なのです。そして、正直に言えば、国家社会主義ドイツ労働者党もまた、この国家党の運命に部分的に巻き込まれたと言わなければなりません：

「金キジ」の悪口、終戦時のガウ防衛委員会の時折の失敗（結局は党事務所だった）、降伏後の数百万の党軍の突然の崩壊、占領政権に仕え、今も仕える元党同志の不相応でお人好しの日和見主義、国家社会主義運動の再生が可能となるよう、まず新しい世代が成長しなければならないという事実

を理解するには、それ以外の道はないだろう。

私たちの民族と思想の敵である永遠の偽善者たちが、第三帝国の党と国家を非難し批判することは、私たち若い国家社会主義者は容認しません。しかし、私たち自身もまた、間違いを認め、将来どうすればもっとうまくやれるかを考えることを、自分たちの間で学ばなければならない-人民と運動への変わらぬ忠誠の中で。

中国共産党もまた、この明らかに必然的な国家党の行き詰まりから逃れることができないように見えた。しかし、10年以上にわたって全権を掌握した後、毛沢東のあるスローガンが、特に若者の間で幻滅した何百万人もの理想主義的な革命家たちと、飽食で自己満足に浸る党の大物たちを驚かせたのである：**反乱は正当化される！**

文化大革命のスローガンとなった。中国以外では、この革命が私たち全員にとってどのような意味を持つのか、ごく一部の人しか理解していません。ほとんどの人にとって、この革命は異国の理解しがたい出来事のように見えるのです。しかし、一党が人民のすべての力を組織することは避けられないと考え、しかし、新しい「階級」、大物支配の発展が避けられないと思われることに絶望した革命家にとって、文化大革命は希望の光となった。

反抗期は正当化される！

歴史上初めて、勝利した革命家が「勝利から何年たっても反抗する理由がある」と宣言したのです。

革命はもはや一過性の出来事としてではなく、恒久的で義務的な任務として理解された！これが、すべての革命家にとっての文化大革命の本当の意味である。この文化革命が「マルクス主義の悪魔の仕事」であるなどと、誰にも言わせないようにしよう。われわれ国家社会主義者は、同じ課題に直面している。われわれも言う：

革命とは、革命党による権力の征服ではなく、勝利した後も常に革命闘争

へのコミットメントと覚悟を必要とする精神的な激変である！

33年、34年のSA過激派が、「革命は続けなければならない、社会革命は民族革命に続けなければならない」、要するに、第二革命は革命的
国家社会主義の義務的目標であるという必要性を語ったのは、それ以外
の意味はない。

反抗期は正当化される！

毛沢東のこの洞察は、エルンスト・レームが1934年の時点で言っていたのと同じように、中国の文化革命の例に負うところがある。したがって、国家社会主義をルイ・ナポレオンと毛沢東の間の緊張の場に位置づけることは正しいことである。どちらの歴史的な例も、私たちに反省を促すものである。たとえ、私たちがそれを真似ることを望まず、単に真似ることはできないのは当然である。

もちろん、文化大革命には暗黒面もあった！文化大革命は、中国の科学技術や経済の発展を何十年も遅らせ、その過程で、民族の意志の担い手として統一された党に課せられた任務を責任を持って遂行することよりも、大惨事政策との共通点が多かった。しかし、これは、人民の利益とはほとんど関係のない党の任務の観念を持つ、硬直した教条的なマルクス主義思想の限界を示すものでしかない。

国家社会主義運動にとっては、すべてが容易である。革命が固まるのを防ぐために、文化大革命のような絶望的な手段に訴える必要はなく、党の任務について異なるイメージを持っているからである！

国家社会主義運動が勝利した後も、大物たちの支配に墮することのないように、最初から組織化することは可能である。このことを、私は次のように示したい。

反抗期は正当化される！



NS KAMPFRUF
KAMPFSPRÜFUNG DER NATIONALSOZIALISTISCHEN DEUTSCHEN ARBEITERPARTEI AUSLANDS- UND AUFFBAUORGANISATION

September 1934 Ausgabe 1273 28. April 2017 02.00

Der Kampf geht weiter !

Wahing Jahre nach der Kapitulation der Wehrmacht am 8. Mai 1945 ist die nationalsozialistische Bewegung stärker als je zuvor in der Nachkriegszeit. Und zwar nicht nur in Deutschland, sondern auf globaler Ebene!

Mitglieder von Massenmord, Verbrechen, Völkermord und Verbrechen haben nicht abgerufen, das Kreuz der gesamten Idee unseres hoch geliebten Führers Adolf Hitler zu entdecken.

Alle Nationalsozialisten sind weniger gefährliche Täter- und Kampfgemeinschaften, sondern Schlichter im Kampf um die Erlösung unserer weißen Völker. Die Bewegung ist zwar stärker geworden, aber die Gefahr des biologischen Völkermord ist keine noch viel größer als in der Vergangenheit.

Die vornehmliche Aufgabe ist es, den Völkern - gegen alle weißen Völker (V) - zu zeigen, dass Mittel und Erbschaften, Überlebende und Kampfgemeinschaften.

Ob "legal" oder "illegal", ob im Wahlkampf oder im Massenmord, ob im Propagandakrieg bzw. auf einem Schlachtfeld anderer Art, jeder Nationalsozialist hat seine Pflicht!

Hail Hitler!
Gerdhard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!



N.S.ニュース速報A
www.nsdapao.org
#1005 19.06.2022 (133)

NSDAP/AO: PO Box 6414 - Lincoln NE 68506 - USA

フロントレポート
モリーへのインタビュー
第3部

NSK: 現在のプロジェクトは、明らかに哲学的で、アートに関連したものです。

このような話題が政治に与える影響について、あなたの考えをお聞かせください。

モリーです。フォトギャラリーの更新は続けていますが、主に Adolf Hitler and the Army of Mankind (www.movingtheancient.com/truth.htm)に集中して取り組んでいます。現在2ページですが、まだまだやるべきことがたくさんあります。第二次世界大戦の戦後は、まさに情報の増量期です。1つのことについて情報を探しても、さらに2つほど調べたいことが出てくる。まるで、埋も




the NEW ORDER
Number 176 (197) Founded 1978 April 26, 2021 (173)

The Fight Goes On !

Seventy years after the capitulation of the Wehrmacht on May 8, 1945, the postwar National Socialist movement is stronger than ever not only in Germany, but throughout Europe.

Decades of mass murder, expulsion, persecution, and defilement have not sufficed to destroy the seed of the brilliant idea of our much loved Führer Adolf Hitler.

All National Socialists and other racially-aware conservatives and racial kinemen fight side by side for the preservation of our White folk.

The movement has indeed become stronger, but the danger of biological folk death is also much greater today than in the past.

The desperate enemy is in the process of committing genocide against all White folk. His means are non-White immigration, culture dilution, and race-mixing.

Whether "legal" or "illegal", whether in election halls or street battles, whether armed with propaganda material or on a battlefield of a different kind, every National Socialist must do his duty!

Hail Hitler!
Gerdhard Lauth



TROTZ VERBOT NICHT TOT!

NSDAP/AOは世界最大です 国家社会主義プロパガンダサプライヤー！

多くの言語での印刷物およびオンライン定期刊行物
多くの言語の何百冊もの本
多くの言語の何百ものウェブサイト



BOOKS - Translated from the Third Reich Originals!
www.third-reich-books.com



NSDAP/AO
Fight Back!



nsdapao.org
Contact us to find out how YOU can help!